

2021年度 全学共通科目

<p>■人材育成等の目的</p>	<p>本学の教育理念の基盤であるキリスト教精神にもとづき、専門的な学びの基盤となる広い知識と教養を身につけるとともに、それらを自らの生きることの意義に結びつけ、他者に共感、奉仕していくことのできる人格を育成する。</p>
------------------	--

■ディプロマポリシー

<p>【知識・技能】</p>	<p>建学の精神であるキリスト教の人間理解をふまえ、人文・社会・自然科学にわたる基本的な知識と言語的能力を身につけている。</p>
<p>【思考力・判断力・表現力等の能力】</p>	<p>さまざまな分野の学問をバランスよく学ぶことで、客観的で論理的な思考力を身につけている。また、学びを通じて獲得した知識を、現実の社会の多様な課題との関連において意義付け、実践に結びつけていく倫理的な判断力を備えているとともに、他者への的確な理解と配慮に立った表現力・コミュニケーション能力を獲得している。</p>
<p>【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢】</p>	<p>自らを取り巻く世界に知的な眼差しを向けるとともに、人間とその内面的価値についての深い関心を有している。学びを通じて獲得した知識や技能を、平和でよりよい社会の実現のために活かす意欲を持ち、人間の尊厳と多様性に配慮しつつ、他者に寄り添っていくことのできる共感的な態度を身につけている。</p>

■カリキュラムポリシー

<p>全学共通科目は、キリスト教科目、教養科目、自立力育成科目、健康科目、情報科目、外国語科目の6つに分かれており、それぞれカリキュラムのポリシーがあり、それぞれに3つの技能への対応が分かれており、単純に3つの技能で分けることができないため、統合した形で記載させていただきました。</p>	<p>キリスト教精神に基づくりベラルアーツ教育を実現するため、全学科に共通の教育プログラムとして「全学共通科目」を設置し、以下の6つの科目区分を設ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「キリスト教科目」は初年次必修の「人間論」、および選択必修の「キリスト教学」によって構成され、聖書に基づく人間観やキリスト教の思想・文化を段階的に学ぶ。 2) 「教養科目」には人文・社会科学および自然科学の諸分野の科目を配置し、これらをバランスよく履修することで、学問研究に必要な思考法と広い視野を身につける。 3) 「外国語科目」では英語を中心に外国語の能力を高め、国際的視野とコミュニケーション能力を育む。 4) 「健康科目」では心身両面において健康なライフスタイルを、初年次必修の「心と体の健康論」および、実技科目(選択)を通じて身につける。 5) 「情報科目」では情報化社会において必要とされるスキルを演習形式で学ぶ。 6) 「自立力育成科目」には国際的な視野から現代社会のあり方や自らのキャリア形成について学ぶA群と、「日本語表現」「ボランティア実践」「自立力育成ゼミ」などの多様な科目を通じて実践的な対話力を養うB群を設け、自ら考え、判断し、責任を担っていく自立力を育成する。 <p>本プログラムにおいては、初年次における必修科目を起点とし、幅広い分野への広がりの中で自らの関心を位置づけながら、より発展的な内容へと学修を深めていくことができるように配慮する。これにより、一人ひとりの学生が大学における学びの専門性を「生きることの意義」への問いに接続し、それぞれに与えられた多様な可能性を発見しつつ、社会の中での具体的な生き方へと結びつけられるように支える、真のリベラルアーツ教育を提供する。</p>
--	---